

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

学生がやるからこそ
実現できる！

大学が果たせる役割

— 学生と様々な
プロジェクトを進める —

はちす あきら
蜂巢 旭さん

皆さんは、東京の大学生たちが大田原と繋がりを持って活動しているのをご存知でしょうか？今回は、東洋大学の教員をされている蜂巢さんのお話。湯津上で生まれ育ち、大田原高校を卒業後、経営学（組織論）を学ぶために東京の大学に進学。コロナ禍における生活の変化もあって、2年前に地元に戻り。現在、大田原と東京を行き来しながら、学生たちと共に活動されています。

●学びのきっかけは小学生時代の体験

蜂巢さん—「組織論の「組織」というのは人の集まりのことなんです。最初の原体験として残っているのは、小学生の頃。落とし穴作りが好きで、いろんな落とし穴を考えて友達に話すと「自分は穴を掘るね」とか「僕は木の枝を持ってくる」とか、みんなの役割分担が勝手に進んで、すごく楽しかった記憶があって。みんながやる気をもって働く感覚と、ダラダラやる気なくやっている感覚って何が



蜂巢さん

違うんだろう？とすごく気になっていたんです。その後、高校の頃に組織論という学びがあるを知って、勉強したいなと思い、今に至っています。

●お子さんのつながりから、大田原での活動が広がっていく

東洋大学で受け持つゼミの学生さんたちが、ビジネスコンテストに出たことをきっかけに、毎年、様々な企業や行政と共同プロジェクトを行ってきた蜂巢さん。大田原で暮らし始めたことで、新しい繋がりが生まれているそう。

蜂巢さん—「これまでもゼミや自分自身が地域や地方の行政と関わる事があって。せっかく、栃木県そして大田原に住んでいるんだから、地元で貢献したいなと思っていたんです。そんな時に子どもの習い事の繋がりで、金丸と親園で農業をされている手塚さんに出会い、学生たちと一緒に何かやりましょうと、話が進みました。」



農業プロジェクトの話し合い。手塚さんのカラフルな野菜も並ぶ。

●日本一の学食と大田原市産農作物をつなぐ

蜂巢さん—「学生が手塚さんや地元の生産者さん達と取り組んでいるのが学食プロジェクトです。東洋大学の学食って学食ランキング（※）日本一なんです。その学食と、栃木県、特に大田原市の女性農家さんの農作物をコラボして、期間限定で学食メニューを提供しつつ、その作物がどうやって作られたかとか、いろんな観点からアピールしたり、学食を食べにきた学生の学びになるようなことをやろうと進めています。」

（※）早稲田大学のサークル「学食研究会」が制定したランキング

●大田原市の学校給食にも、学生と共に風を送り込む

蜂巢さん「学校給食の地場産物の利用促進は、学校の先生方、県や市、生産者のさまざまな方が高い関心を持っています。学校は、給食費の予算のなかで、栄養バランス良く食材を安定調達する必要がありますが、農作物は季節や不作があり、学校と生産者の需要と供給をマッチングさせるのは、簡単ではありません。今は県や農業振興事務所の力をお借りしながら、学生や生産者さん達と模索しているところです。」



今後は農業体験や生産者の方との交流も行っていききたいそう。

●大学、学生の持つ可能性を地域に

蜂巢さん「皆が理想とする社会の姿があったとしても、参加者それぞれの論理で進まないことっていっぱいある。そこに大学や学生が入ることで、行政と企業と一緒に何かができたり、普通なら繋がらないものが繋がったりする可能性があるんじゃないかと思っています。そういった役割を、大学や私が積極的に果たしていきたいですね。」



**大学のゼミで
フォロワー日本一
東洋大学 蜂巢ゼミ**

蜂巢さんと学生さんたちの活動がわかります。大田原とのコラボプロジェクトも要チェック！




ホームページ Twitter



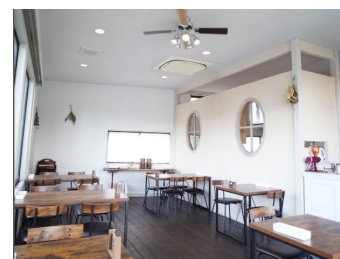
学食プロジェクトの食材提供にも協力されている前田牧場のカフェ

取材した方に聞きました！

あなたの好きな**大田原**

**前田牧場
ファーマーズカフェ**

住所：若草1-761
Tel：0287-48-6988



おいしいのはもちろんのこと、落ち着いた雰囲気、ゆっくり食事ができるというのが、蜂巢さんのおすすめポイント。

学生のみなさんが生き生きと学んでいる様子に感動し、学びながら社会に還元していくというのは、すごいパワーを持っているんだなと感じました。外側からの視点を持ちながら地域の力を循環させていく蜂巢さんと、学生のみなさんの活動に是非、注目してみてください！（白井）

大田原に住みたい方がいます！
お持ちの空き家を活用しませんか？

 **空き家バンク**

「空き家バンク」は、所有している空き家の情報を登録していただき、利用したい方に情報提供する制度です。

詳しくは下記の担当課にご連絡ください。

建築住宅課 Tel：0287-23-1916

お問合せ

大田原市の移住相談窓口
大田原市移住・定住交流サロン

大田原市役所 総合政策部 政策推進課
大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階
Tel：0287-23-8794

Mail：salon@ohtawara-ijyu.jp

大田原の暮らし、地域情報など発信中！



掲載したい情報をお寄せください！